

平和と平和共存、反独占民主主義
平和・民主・労働運動統一のために
大衆的青年同盟建設のために

青年の旗

第91号

編集 労働青年同盟(仮称)結成準備会
発行 青年の旗社
振替 東京6-40103 大阪37542 名古屋4650
一部200円、定期購読 年間三千円(送料込み)

人勧闘争突破口に反撃を



福祉・教育切り立て 防衛費突出予算反対!!

八月八日、七七日間の延長も含め、二七二日間行なわれていた第一〇一回特別国会が終了した。

政府・自民党は健康保険法改正、臨時教育審議会設置法、専売改革五法など、政府・自民党は、提出した八四件のうち七〇件を成立させた。(この中で、行革連法案は三〇件提案、政府・自民党は、提出した一九件成立であった)。中曾根は、この法案成立率八三%を用いて「八三%の打率でかなり成績をあげた国会」と評した。中曾根にとって高く評価される国会は、逆に人民にとっては厳しく、関連法案を集中的に審議され、自民党が今回の特

別国会で狙っていたのは、

縮め、収奪を強化せんとする政府・獨占の狙いを端的に示すものであった。

政府・自民党が今回の特



四日、東京において年次総会を開催し、八四年度運動方針を決定した。冒頭あいさつに立った引も唯一の階級的ナショナル

統一労組懇は、八月三、四日、東京において年次総会を開催し、八四年度運動方針を決定した。

間氏は、「既存のナショナルセンターの右傾化のもとで、統一労組懇がその力量を強め、政策上、運動上で

七月開催された総評大会では、行革攻撃に対する反

抗争が呼びかけられた。

国労・全通・自治労・日教組と、総評主力の官公労の足元に既に火がついている

という状態になつてからではあるが、この課題で地域

に出で、国民諸階層との統

一戦線を強化拡大せんとの

提起は、大会で代議員より

高く評価された。今総評大

会での大きな特徴の一つで

あるこの方針決定は、極めて積極的なものであった。

しかし、これ以外の点に

問題にそれは現われていた。

一九五五年から開始された

春闘は、資本の力に対抗す

るために、賃金協定が更改

される春に、それぞれの労

働組合が賃上げ要求や闘い

方を企業の枠をこえて産業

問題にそれが現われていた。

確かに、全民労協に参加

する組合の幹部の中には、

これを機会に日本の労働運

動を労使協調路線へ丸ごと

の方針は、当初の春闘路線

に立ち返り、賃金要求決定

がいかになされたか、統一

闘争がいかに展開されたか

について検討されべきで

あつた。すなわち、賃金要

求決定が、いわゆるJ.C.相

対つて、当然総評大会にお

ける春闘総括、その再構築

の方針は、①統一労組懇と労働四

組懇のセンター的機能の強

化を提起し、その中で特

別に統一し闘うことを中心

としている。これは現われた

問題である。このよう

として運動の前進どころか

マイナス要因として働くこと

がいる事は事実である。

しかし、その意図が貫徹す

るとみるのは敗北主義であ

る。

労働運動発展のために、各

ナショナルセンターの枠

をこえてお互いが一つのテ

ーブルにつき、大衆的な共

同行動をねばり強く積み重

ねるなかから、右翼的再編

がでていることをつけ加え

ておくる。

しかし、労組懇は、総

評を右翼的再編に手をかし

る。

そこで、今回の「提言」で

ある。今日、国民生活の全

域で行革攻撃が強められ

ておられます。

そこで、今回の「提言」で

ある。今日、国民生活の全

域で行革攻撃が強められ

